



北区の部屋だより

2025年7月 第191号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和7年7月発行

北区 さほれ話 第191回

北とぴあは1位ではなくなっていた —北区のビル高さ比べ—



平成2年（1990）王子貨物駅跡地に「北とぴあ」が建設されました。北区産業文化会館として計画され、さくらホールなどの大規模なコンサートや演劇が開催できるスペース、パイプオルガンやプラネタリウムなどを備え、北区の産業や文化を支える拠点としての役割を果たしてきました。特に17階展望ロビーからの眺望はすばらしく、飛鳥山公園全体を見下ろせるほか、新幹線などが行き交う姿を楽しむこともできます。また、遠く富士山や筑波山などを望める日もあります。北とぴあ竣工と同じ平成2年、新宿区にある東京都庁もオープンしていますが、そちらは48階建てで243.4mです。北とぴあは、88.3mですので、都庁の3分の1くらいの高さです。それでも、北とぴあは、北区で一番高いビルでした。

この北区自慢の北とぴあですが、マンション高層化の流れの中で、1位の座から転落してゆきました。令和7年（2025）6月時点で、北区で最も高いビルは「十条駅西口地区第一種市街地再開発事業施設建築物」つまり“ジェイトエル”がある複合施設です。39階建てで146.16mという圧倒的高さです。第2位は、滝野川六丁目のパークタワー滝野川です。平成26年（2014）の竣工で、昨年までは1位でした。28階建てで99.97mです。第3位は、王子駅南口にある王子飛鳥山ザ・ファーストタワー&レジデンスです。タワー棟は29階建てで97.86m、平成28年（2016）竣工です。このマンションは、北とぴあの展望室から見ると、サンスクエアの向こう側に位置し、かなり目立つ存在です。そして、我が北とぴあは、現在のところ、残念ながら第4位です。ちなみに、田端駅前の田端アスカタワーは、第5位で19階建て84.65m、平成5年（1993）竣工です。

もちろん、北とぴあが1位でなくても、何の問題もありません。1位が偉いなんて言う

つもりは全くありません。ここ10年くらいの間に、北とぴあより高いマンションがつつぎつつぎに建設されていったという事実は、北区がそれだけ住みよい場所だということが知れ渡ったということでしょう。埼京線・京浜東北線・山手線・上野東京ライン・湘南新宿ラインさらに、東京メトロ南北線が利用できるなど、交通上の利便性が抜群です。それにもかかわらず、都心に比べて不動産価格が割安であることなどが、北区が選ばれる理由なのでしょう。むしろ、北とぴあの順位が下がっていくことが、北区発展のバロメーターなのかもしれません。



空から見た北とぴあ 令和6年（2024）

【地域資料アドバイザー 黒川徳男】

北区の部屋
今月の展示

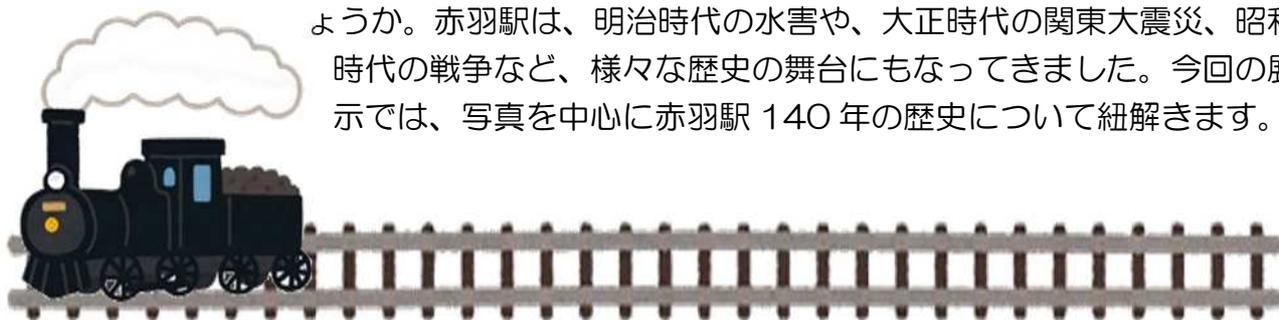
赤羽^{えき}驛140年 Akabane Station History



赤羽駅の踏切を通過するD51 蒸気機関車 昭和43年頃
昇堅堂提供

- 展示期間：6月27日（金）～7月23日（水）
- 展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

明治18年（1885）3月1日、赤羽駅が開業しました。今年で140歳です。東京の「北の玄関口」と言えば上野駅を意味します。それなら赤羽駅は東京の「北の軒先」でしょうか。赤羽駅は、明治時代の水害や、大正時代の関東大震災、昭和時代の戦争など、様々な歴史の舞台にもなってきました。今回の展示では、写真を中心に赤羽駅140年の歴史について紐解きます。



平和図書コーナー開設します

図書館では北区をあげて行われる平和祈念週間のイベントの一環として、区内全図書館に「平和図書コーナー」を開設します。本を通じ、皆様が平和について考えるきっかけになればと願っております。

- 開設期間：令和7年7月25日（金）～8月31日（日） ※休館日を除く
- 開設場所：①一般向け … 中央・滝野川・赤羽図書館
②児童向け … 区内全図書館（子ども図書館、児童コーナー、子ども室等）

中央図書館では、北とぴあ地下1階展示ホールで行われる平和展（8月5日（火）～9日（土）まで）に「米軍が撮影した戦後の北区」と「ドナルド・キーンと平和2025」の二つのテーマでパネル展示をします。また、「平和展」終了後には、パネル展示を引き続き中央図書館にて8月10日（日）～31日（日）まで行います。ぜひ、足をお運びください。



北区の部屋って？



北区立中央図書館には、他の図書館にはない、「北区の部屋」というところがあります。「北区の部屋だより」をいつも見て下さっている方はご存じだと思いますが、まだ、知らない方や知っているけど行ったことはない方もいらっしゃると思います。北区に関する本や地図、写真などたくさんの地域資料が置いてあります。「こんなところがあったんだ、こんど図書館に行ったら、寄ってみよう♪」とっていただけるとうれしく思います。ぜひ、足を運んでみてください。



北区の部屋だより

2025年8月 第192号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和7年8月発行

北区
こぼれ話
第192回

—知っていますか？赤羽にあった自動車教習所—



みなさんは、写真に写るこの建物を知っていますか？
これは、1953年(昭和28)から1974年(昭和49)まで存在していた赤羽自動車練習所です。名称は自動車「練習所」ですが、免許取得の講習を行っていたため、いわゆる指定自動車教習所と変わりありません。稲付町1丁目(現在の赤羽南1丁目)にあり、赤羽公園のすぐ隣に位置していました。もしかしたら、以前ここに通って免許をとった方もいるのではないのでしょうか？



赤羽自動車練習所 1960年(昭和35)撮影

さて、今回は練習所ができた経緯とその後についてのお話をしていきたいと思います。
時代は高度経済成長期。所得の増加やインフラ整備が進んだことで、次第に自動車が普及していきました。こうした中で自動車事故の増加が見え出すことのできない社会問題となっていき、運転技術習得の需要が高まりをみせました。そのような情勢の中で、区営の自動車練習所の設置が計画されました。

当初、練習所を建てる敷地として神谷町の学校予定地が挙げられましたが、狭いうえに立地条件が悪いことから、代替案として稲付1丁目の敷地が挙げられました。ここは高校誘致のために用意されたもので、練習所建設は本来の使用目的とは異なります。そこで、都教育庁に使用してよいか打診した結果、あくまで学校敷地として活用する方針は変えず、一時的に練習所として利用してよいことになりました。こうして、1953年に北区立赤羽自動車練習所が開業し、翌年には特別区公安委員会公認となりました。

私営や安全協会経営が多い中で、全国的に見ても区が練習所を運営するという事例は極めて稀でした。当時の区行政では「東京都二十三区の先端を行く画期的な事業」(『北区議会史』より)と認識されており、区の期待を背負った政策だったと言えるでしょう。

しかし、当時としても先駆的な事業であったためか、練習所の運営は初年度から赤字続きでした。開設から3、4年を経て、ある程度自動車が普及してからわずかに黒字になりましたが、初年度の赤字をカバーするには程遠いものがありました。区としては、年数を重ねるごとに収入を増やしていく計画であったと推測されますが、このまま運営を継続したところで、今までの赤字額から挽回することは厳しかったのです。

これに追い打ちをかけるように、1959年(昭和34)頃から区議会で練習所経営が疑問視されはじめました。そもそも、区の事業はできる限り広範囲な区民サービスをすることが原則です。これに反して、対象が限られる練習所経営は、区の事業としてふさわしくないとみなされたのです。

その同時期、北区では区庁舎・公民館建設が目下の課題として挙げられており、建設費確保のために区有財産の処分が検討されていました。その処分対象として、練習所に白羽の矢が立てられました。その結果、1959年練習所は東武鉄道に売却されました。運営は東武鉄道に引き継がれ、1974年に閉鎖されるまで続けましたが、ここに約6年間続いた区営の自動車練習所事業は終わりを迎えました。そして、この練習所売却の費用で建設されたのが北区公会堂だったので

【地域資料専門員 佐久間乙葉】

北区の部屋
今月の展示

「閉校後の跡地は今?!」 ～北区にあった小学校の跡地利用～



■展示期間：7月25日（金）～8月27日（水）

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

かつて北区には46校（1976～95年）の区立小学校がありました。今年（2025年）4月の時点で32校まで減少しています。では、閉校となってしまった小学校の跡地はその後どうなっているのでしょうか。今月の展示では北区の学校跡地について紹介します。



平和図書コーナー開設しました

図書館では北区をあげて行われる平和祈念週間のイベントの一環として、区内全図書館に「平和図書コーナー」を開設しました。

本を通じ、皆様が平和について考えるきっかけになればと願っております。

■開催期間：令和7年7月25日（金）～8月31日（日） ※休館日を除く

■開催場所：①一般向け … 中央・滝野川・赤羽図書館

②児童向け … 区内全図書館（子ども図書館、児童コーナー、子ども室等）

中央図書館では、北とぴあ地下1階展示ホールで行われる平和展（8月5日（火）～9日（土）まで）に「米軍が撮影した戦後の北区」と「ドナルド・キーンと平和 2025」の二つのテーマでパネル展示をします。また、「平和展」終了後には、パネル展示を引き続き中央図書館にて8月10日（日）～31日（日）まで行います。ぜひ、足をお運びください。



人気者の「王子の狐」



“王子”の“狐”がいろいろな本などに登場してくるのをご存知ですか？

落語の若い娘に化ける狐をみつけた男が、その狐を逆に化かそうとする話がよく知られていますが、江戸時代の王子稲荷神社には関東中の稲荷神社から使いの狐がお参りにくると信じられていました。北区では、1993年（平成5）から「狐の行列」祭りが行われ、多くの人でにぎわいます。中には、「妖怪」として紹介されている本もあります。「王子の狐」の本や紙芝居、見てみませんか？

『王子のきつね古典落語「王子の狐」より』 柳家三三著/あかね書房

書誌番号：B11480389

『落語こてんコテン』

柳家喬太郎著/筑摩書房

書誌番号：B11229773

『日本の伝説 江戸東京』

藤沢衛彦著/河出書房新社

書誌番号：B11704994

『森の紳士録 ぼくの出会った生き物たち』 池内紀著/岩波書店

書誌番号：B10464846

『気になる物件』

泉麻人著/扶桑社

書誌番号：B10036865

『きつね装束殺人事件』

七滝雅孝著/新風舎

書誌番号：B12779305

『日本全国妖怪スポット 1 妖の巻』

村上健司著/汐文社

書誌番号：B11018977

『妖怪そろそろ俳句の本 上』

古館綾子著/童心社

書誌番号：B11201787

『王子のきつね』 東京北区のむかしばなし（紙芝居）保垣孝幸他著/教育振興部中央図書館

書誌番号：B13295286



北区の部屋だより

2025年9月第193号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和7年9月発行

北区
こぼれ話
第193回

伊香保の疎開先で 特攻隊員を見送る



昭和19年(1944)8月、東京では集団学童疎開が始まりました。王子区や滝野川区の国民学校3年生以上は、群馬県の旅館や寺院に疎開しました。さらに、翌年4月からは、1年生以上のほとんどの児童が疎開の対象になりました。

昭和19年度の王子第三国民学校の疎開先は、伊香保の三つの旅館でした。その一つが、塚越旅館(現、温泉宿 塚越屋七兵衛)です(『創立四十周年記念誌』王子第三小学校)。昭和20年(1945)3月13日、疎開児童たちの夕食が終った頃、陸軍の住田乾太郎・小林敏男以下、陸軍特攻隊員計27名が塚越旅館に到着しました。出撃前の一夜を伊香保の温泉旅館で過ごすためでした。

旅館の従業員だけでは人手が足りなかったため、疎開児童の世話をするために同行していた寮母さんたちも、宴会の手助けをしたそうです。特攻隊員の宴会なので、寮母さんは恐る恐るお手伝いをしたのですが、実際には歌と笑い声に終始した和やかなものでした。「そうですか、寮母さんか、済まんですね、一つ子供たちは立派に育てて下さいよ」と、寮母さんは、隊員から礼と励ましの言葉をかけられたのでした。そして、酒が進んでくると「やるぞッ」と口々に決意を述べたと言います。隊員たちは、子どもたちと歌を歌い、軍服を着せるなど楽しく過ごしました。

当時4年生だった男性は、後に「特攻隊の人達が、出撃前に遊びに来て、夜遅くまで特攻隊の歌を歌ったあの夜のことが、今でも走馬灯のように、思い出されてくる」と回想しています(『創立六十周年記念誌』同小学校)。

翌朝、疎開児童たちは、特攻隊員と一緒に写真を撮影しました。隊員たちは、子どもたちに「勉強するんだぞ」と言葉をかけ頭をなでたそうです。隊員たちが旅館を去る時、子どもたちは「万歳」と叫び見送りました。

隊員たちは、遺書にも似た寄せ書きを旅館に残していきました。そして、この特攻隊員と疎開児童の交流の様子は、地元の『上毛新聞』昭和20年6月3日で詳細に報じられ、写真も掲載されました。

伊香保を後にした特攻隊員たちは、4月6日、沖縄特攻作戦に出撃し若い命を散らしていきました。その後、塚越旅館は高崎陸軍病院分院となり(前掲、『上毛新聞』)、疎開児童はそこから別の寺院へ移されていきました(前掲『創立六十周年記念誌』)。

【地域資料アドバイザー 黒川徳男】



参考文献：内藤幾次『学童疎開』(同成社、2001年)

北区の部屋
今月の展示



「田端」～昭和の原風景～

■展示期間 8月29日（金）～9月24日（水）

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

今年、令和7年（2025）は、昭和100年そして戦後80年にあたります。東京近郊地域にとって、昭和は大正12年（1923）の関東大震災から始まったと言う説があります。それは、都心や下町から周辺部へ人口が移動したためです。つまり、震災をきっかけに、東京の周辺部は都市化したというのです。

北区にとって、それを象徴的に示しているのが田端という地域です。関東大震災で上野駅が焼失したため、避難者は田端駅へ殺到しました。また、昭和3年（1928）には、京浜線電車が田端駅まで延伸されました。田端の高台は、交通の便の良い住宅街として発展していきました。その一方で、田端機関区や田端操車場の周辺は、機関車の黒煙と走行音のため、住環境としては良好とは言えず、むしろ工場の街へ変化していきました。今回の展示では、そんな田端の原風景と言うべき写真をご覧ください



田端大橋 昭和37年頃 倉田正義氏提供



図書館刊行物のご案内

「北区の歴史 はじめの一步」や「北区こぼれ話」などの図書館刊行物は、北区役所や書店など、図書館以外でもご購入いただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

■図書館刊行物

- ◆北区の歴史 はじめの一步 改訂版（浮間、赤羽東、赤羽西、王子東、滝野川東、滝野川西地区編）…… 各400円
- ◆北区の歴史 はじめの一步（王子西地区編）…………… 310円
- ◆北区こぼれ話（1・2・3）……………各200円
- ◆TOKYO 北区のKITA みち（日本語・英語版）…………… 各500円



■販売場所

- *北区立中央図書館、滝野川図書館、赤羽図書館の3館
- *北区役所区政資料室（本庁舎1階）、北区飛鳥山博物館
- *区内書店（下記4店舗）



1	ブックスページワン・イトヨがト・赤羽店 北区赤羽西1-7-1-6F（☎03-5993-7330）	3	文書堂（※「KITA みち」のみ販売） 北区赤羽北2-11-18（☎03-3900-5950）
2	ビーブックス（※「KITA みち」のみ販売） 北区豊島5-4-1-111（☎03-3914-1157）	4	フタバ書店（※「KITA みち」のみ販売） 北区西ヶ原1-55-12（☎03-6681-0288）



☆☆☆ 北区の歴史、興味ありませんか ☆☆☆

「北区の歴史を学ぶ会」のご案内

- 開催日時 毎月第4火曜日 午後2時～4時
- 開催場所 中央図書館3階ホール／区民活動コーナー



北区図書館活動区民の会では、図書館と協働でさまざまな取り組みを行っています。そのうちのひとつ、地域資料部では、北区の地域資料を考える上で「まずは北区の歴史を学ぼう！」と、「北区の歴史を学ぶ会」を開催しています。

月に一度集まり、参加者自身が北区を題材に調べ上げた研究成果を発表したり、定点観測を行ったりと、北区をさまざまな切り口で取り上げ学んでいます。「北区の部屋」の地域資料専門員も参加していますので、興味深い話が聞けるかもしれません。聴講だけでもOKです。まずは一度、来てみませんか？

※お問い合わせは中央図書館内、区民の会事務局（☎03-5993-1125）まで



北区の部屋だより

2025年 10月 第194号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和7年10月発行



記憶と知識

～記憶を補完するなかで～



今年には戦後 80 年という節目の年にあたり、北区に限らず全国各地で戦争に関する展示や様々なイベントが行われています。「北区の部屋」でも区民の方から戦争に関する古い記録を預かったり、戦争体験の話をうかがったりすることがありますが、実は北区で最も被害が生じた空襲くうしゅうを昭和 20 年(1945)3 月 10 日の空襲、いわゆる東京大空襲だと思っている方が多いことに気づかされます。

そもそも北区域に最大の被害をもたらした空襲は、昭和 20 年 4 月 13 日未明から 14 日にかけて行われた城北空襲とも呼ばれる空襲です。滝野川区の大部分に加え王子区でも広範囲が焼失し、帝都防空本部の情報によると死者 322 名(王子区 182 名・滝野川区 140 名)、全焼家屋は 29,143 戸(王子区 14,108 戸・滝野川区 15,035 戸)という甚大な被害じんたいが生じています(※1)。ところが東京で起こった大規模な空襲ということで、これを 3 月 10 日の空襲として語られる方が意外に多いのです。

これは間違った記憶というより、後の知識が記憶の中に紛れ込んでいるものと思われます。空襲にあった時はまだ小さな子どもの頃だったでしょう。親に手を引かれながら逃げたあの日が何月何日か、当時の記憶として明確に覚えているとは到底思えません。真っ赤に燃える街

の記憶を思い起こす中で、後に昭和 20 年 3 月 10 日東京に最大規模の空襲があったことを知り、ああ、あの日は 3 月 10 日だったのか、と記憶を知識で裏付けし、結果、事実とは異なる記憶を持ってしまったものと思われる。

こうした話は空襲に限らず、北区の古い話を聞いていくと、それが実際に体験した話(記憶)なのか、それとも後に得た知識なのか判然としない、曖昧あいまいな話も少なくありません。話をしている本人は間違ったことを伝えているつもりは全くないので、やはり聞いていく側が丹念にそれを裏付けていく必要があると思います。

ちなみに、昭和 20 年 3 月 10 日の空襲でも北区域に被害が出ていて、滝野川区で全焼家屋 12 戸(田端)、半焼家屋 2 戸(西ヶ原)、罹災者りさいしゃ30 名となっています(帝都防空本部情報)(※2)。

【地域資料専門員 保垣孝幸】



※1、2ともに『東京大空襲・戦災誌第3巻』(東京空襲を記録する会、1973年 書誌番号 B12785296)

北区の部屋 今月の展示

「北区の部屋」の作業室から ～今こんなことやってます！～



- **展示期間** 9月26日(金)～10月22日(水)
 - **展示場所** 「北区の部屋」企画展示コーナー
- 「北区の部屋」の作業室では一体何をしているの？少なくとも「北区の部屋」を1度でも訪れた方は、そう疑問に感じたことがあるかもしれません。
- 「北区の部屋」の作業室では、日々区民の方から史料の提供を受けています。今回の展示では、今年度4月から整理を行った「熊谷家文書」をもとに、どのような史料を扱っているのか、ちょっとした解説をまじえてご紹介します。



『「北区」が登場する本のリスト』を更新します

◆北区立図書館では、「北区」に関する記述のある本の目録、『「北区」が登場する本のリスト』を作成し、毎年10月に情報を更新します。

今年も区内全図書館に、更新したリストを置きますので、ご覧ください。

◆リストにある本の背表紙に【さくらマーク 】が貼ってあります。

お手にとって、どんな「北区」が描かれているか、ぜひチェックしてみてください。

※リストは図書館ホームページでもご覧いただけます。

【北区が登場する本】の情報は随時募集中です。

「北区」の記述がある本を発見しましたら、各図書館に置かれている、『北区が載っている本を教えてください』に詳細を記載し、図書館のスタッフへお渡しください。

皆さまからの情報をお待ちしております♪

用紙は、
各図書館の
カウンターや
記載台に設
置してありま
す。



東京にある文化財にあえるチャンス到来！ ～東京文化財ウィーク2025～



◆東京都教育委員会では、毎年11月3日(文化の日)を中心に、都内にある文化財の公開事業や、文化財めぐりや特別展、講座などのイベントを実施する『東京文化財ウィーク』を開催しています。

北区内でも旧醸造試験所や旧古河邸(大谷美術館)、旧渋沢家飛鳥山邸の特別公開や各種講座の開催などがあります。詳しくは、下記ホームページでご確認ください。(ガイドブックの配布はありません)

◆『東京文化財ウィーク2025』開催期間

◎特別公開事業

10月25日(土)～11月3日(月・祝日)

◎企画事業

10月1日(水)～11月30日(日)

◇問い合わせ先: 東京都教育庁地域教育支援部管理課文化財保護担当

電話: 03-5320-6862

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/week.html>





北区の部屋だより

2025年 11月第195号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 ☎03-5993-1125 令和7年11月発行



こういう調べ方もある！

～昔の工場と商店を知りたいとき～



以前、図書館利用者の方からこんな質問を受けました。「祖父が北区で食品工場を営んでいたの、詳細を知りたい」というものです。幸いにも、当時の住所や昭和30年代頃まで営んでいたことを利用者の方が覚えていらっしゃいました。

では、上記のような質問を受けた際に、どのような資料を調べるとわかるでしょうか。一例ではありますが、『北区商工名鑑』を使って調べるという手段があります。『北区商工名鑑』は、北区商工名鑑編纂委員会によって区内の商工業の実態を把握し、宣伝活動に資することを目的として作成されたものです。

今回使用したのは1955年(昭和30)に作成・発行されたもので、1954年(昭和29)10月当時に北区にあった工場や商店、その他教育施設などを収録しています。ただし、資料の中に「不備脱漏の点無しとしない」との記載があることから、当時の北区全体の商工業名を必ずしも網羅出来ているわけではないことに留意しながら使用する必要があります。

資料には、商店・工場名、営業主、住所、電話番号、製造品の情報が載っています。商業・工業・その他(自由業や建設業など)・公共施設という大まかな分類に分けられ、さらに取り扱い品目ごと

にわけられています。冒頭の質問は食品工場とのことでしたので、「食料品工業」という項目で調べていきます。食料品と一口に言っても様々で、精穀(精米)・製粉・製麺、調味料、菓子製造、製氷・飲料品、佃煮・漬物類、その他の食品(こんにゃく製造、アイスクリーム製造、納豆製造など)と細分化されており、何を製造していたのかわかるのであれば、すぐ見つけることができるでしょう。

年代としては非常に限定的にはなりますが、「北区の部屋」にはこういった資料もあります。家族が北区の工場に勤務していたらいい……というざっくりとした情報しかわからない時でも可能な限りは力になりますので、気軽にお声かけください。

ちなみに冒頭の工場ですが、この名鑑に記載があり、無事返答することができました。

【地域資料専門員 佐久間乙葉】





北区の部屋
今月の展示

滝野川の紅葉 ちみじ

- 展示期間 10月24日(金)～11月26日(水)
- 展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー



石神井川沿い、取り分け滝野川地域は江戸・東京近郊の紅葉の名所として広く知られていました。今月の展示では、飛鳥山の劣らぬほど多くの行楽客を集めてきた滝野川の紅葉について紹介します。秋の行楽シーズン、紅葉を探して石神井川散策などはいかがでしょう。



「北区の部屋」の資料、提供しています

「北区の部屋」では、北区に関する様々な資料を所蔵しています。
「北区に関するものは何でも」を合言葉に、古い写真、絵葉書など、本以外のものも積極的に集めており、それらの資料を必要とする方々に提供するサービスを行っています。



図書館になる前の赤レンガ棟

今年は、戦後80年という節目の年。テレビ番組の制作会社や出版社など様々なメディアからのお問い合わせや取材が増えました。北区は戦争遺跡が多く残っており、北区立中央図書館の赤レンガ棟もその1つです。こうしたことから、注目が高まっているのでしょう。

北区の部屋では戦中・戦後の写真やくらしがわかる資料を提供していますので、「北区立中央図書館提供」といった資料をメディアで目にする機会が多くなるかもしれませんね。

【🌸 実際に北区の資料等が使われている本 🌸】

- ・『昭和30年・40年代の北区』 三冬社/編 三冬社 2009年 書誌番号 B10859597
- ・『今昔写真と路線分析 都電荒川線の全記録』 中村建治・森川尚一/著 フォト・パブリッシング 2021年 書誌番号 B11964416
- ・『東京人』 2022年8月号 都市出版/編 都市出版 書誌番号 B13239750
- ・『江戸の借金～借りてから返すまで～』 荒木仁朗/著 八木出版 2023年 書誌番号 B13291364
- ・『目で見る北区の100年』 黒川徳男・保垣孝幸/著 郷土出版社 2013年 書誌番号 B13115605

【🌸 資料提供の依頼の多い 3点 🌸】



造幣廠火工廠(本部)絵葉書
(現中央公園文化センター)



赤羽駅舎落成記念 昭和28年(1953)4月
手川文夫氏撮影



赤羽駅東口広場(ヤミ市)
渡辺肇氏撮影